

# FRONTIER21における弥生会計の運用について(バージョンアップ)

◆弥生会計23へバージョンアップする場合、以下の手順でご利用ください。

(サンプル) 共有フォルダ名:0033 目黒トレーディング ファイル名:目黒トレーディング(33期～35期)

あらかじめ、デスクトップに[F21データ](名称任意)というフォルダを作成しておいてください。

■旧製品(弥生会計16～22)からのデータコンバート手順  
※事前に弥生会計23のインストールを行ってください。

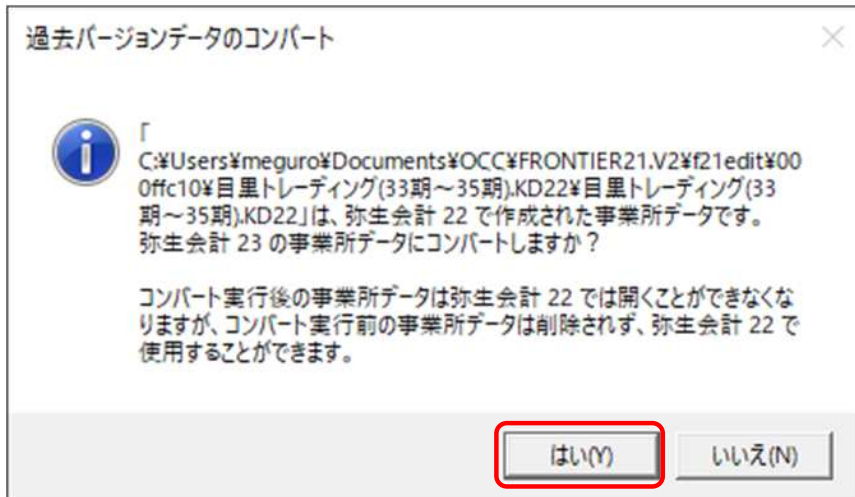
①デスクトップのFRONTIER21 V2のショートカットをダブルクリックして起動、ログインします。



②[ファイルの一覧]画面で、フォルダ名[0033 目黒トレーディング]を選択します(①)。  
一覧に表示される【目黒トレーディング(33期～35期)】をダブルクリックして起動します(②)。



③[過去バージョンデータのコンバート]ウィザードが表示されたら、[はい]をクリックします。



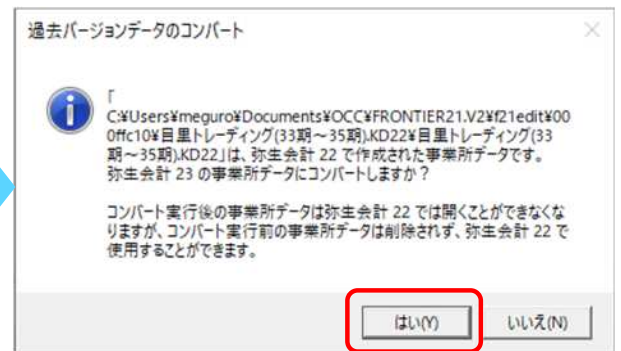
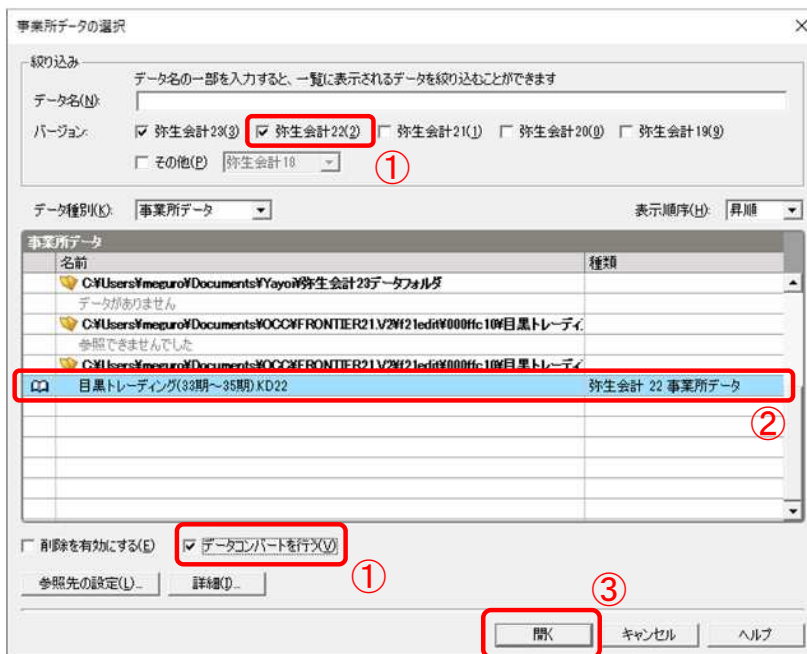
※③の画面が表示されない場合、

[ファイル]-[開く]をクリックし、[事業所データの選択]画面を開きます。

[弥生会計22 (コンバート前のバージョン)]のチェックボックスと、  
[データコンバートを行う]のチェックボックスにチェックを入れます(①)。

現在開かれている【目黒トレーディング(33期～35期).KD22】を選択し(②)、[開く]をクリックします(③)。

[過去バージョンデータのコンバート]ウィザードが表示されたら、[はい]をクリックします。



④ウィザードに従って、[次へ]をクリックします。



※[保存先の設定]画面の[保存場所]は、  
[参照]をクリックし、デスクトップに作成済みの[F21データ]フォルダを選択します。

⑤[設定内容の確認]画面が表示されたら[開始]をクリックし、データ変換が完了したら[終了]をクリックします。  
弥生会計22を右上の[×]で終了します。

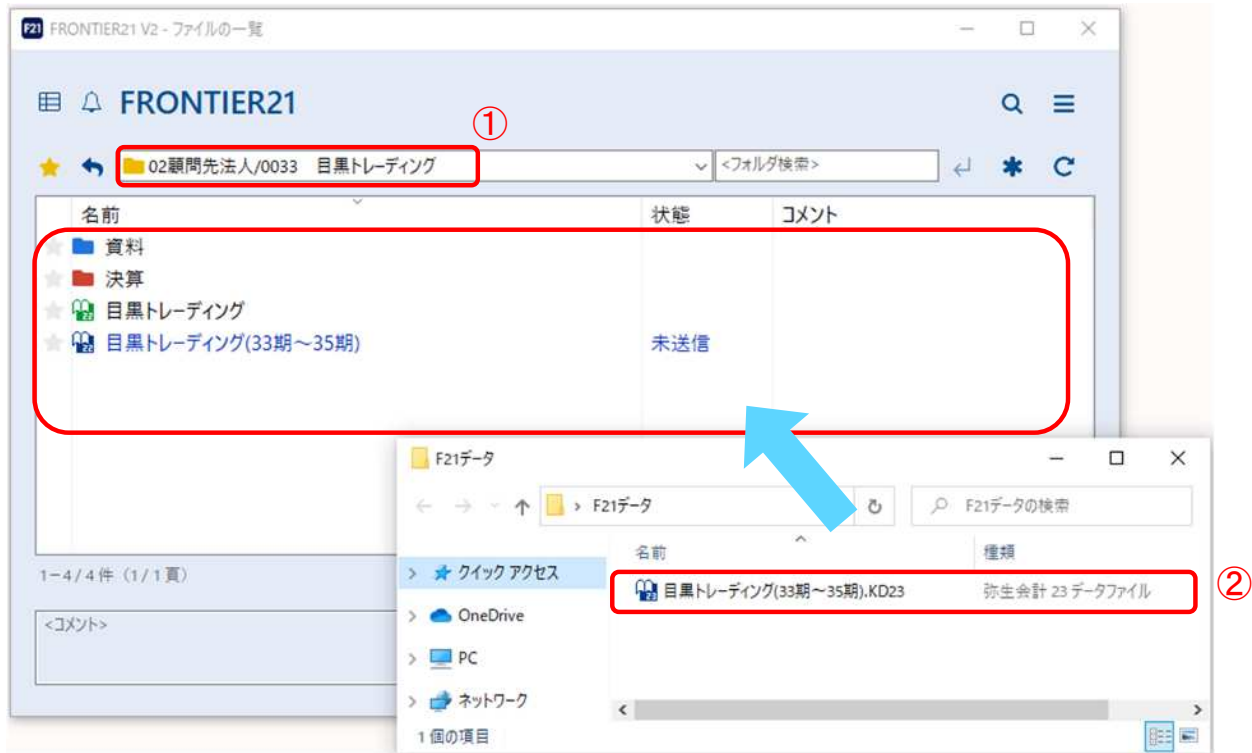


## ■ファイル追加手順(ドラッグ & ドロップ)

※ファイルの一覧画面で右クリック[ファイルを追加]を選択し、追加を行うこともできます。

①フォルダ名[0033 目黒トレーディング]を選択します(①)。

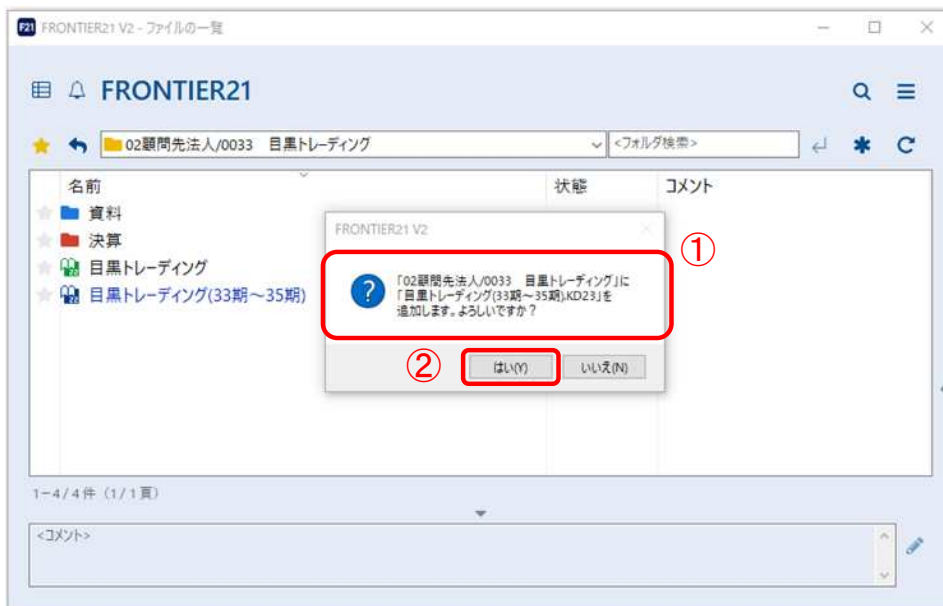
デスクトップの[F21データ]フォルダを開き、【目黒トレーディング(33期～35期)】(弥生会計23データ)をFRONTIER21のファイル一覧上にドラッグ & ドロップします(②)。



### Point !

ドラッグ & ドロップで追加する際も複数ファイルの選択が可能です。

②[ファイルの追加]画面が表示されましたら、フォルダ名とファイル名が正しいことを確認し(①)、[はい]をクリックします(②)。



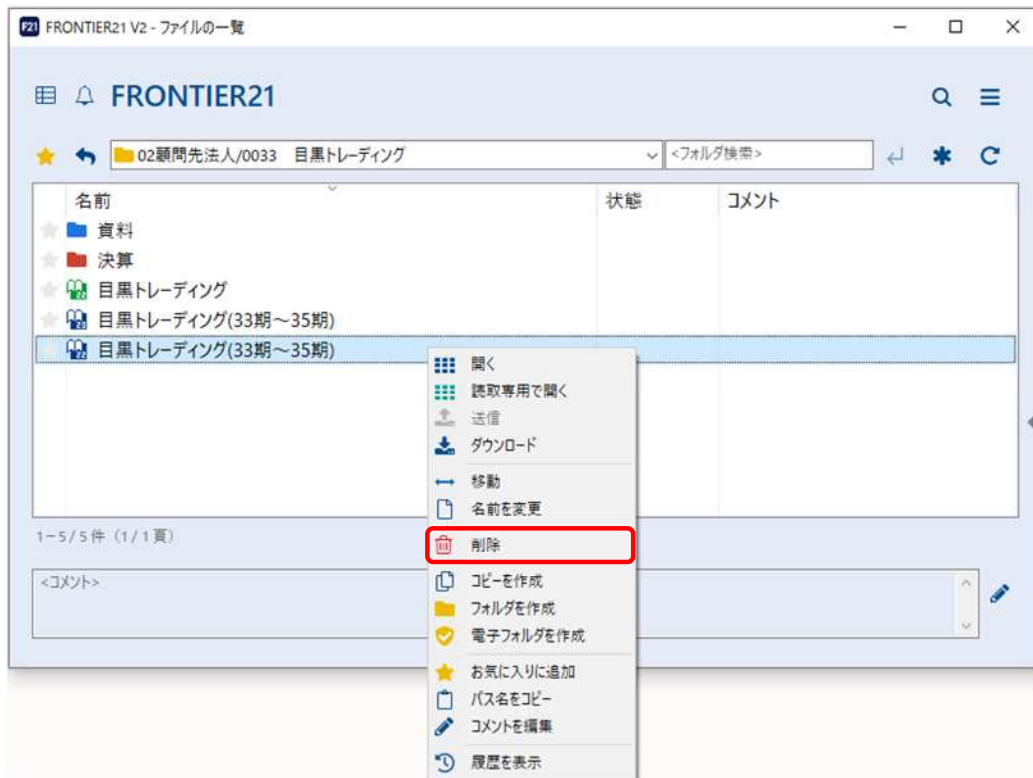
③[ファイルの一覧]にファイルが追加されたことを確認します。

**コンバート前のデータを削除する場合④⑤の手順で操作します。**

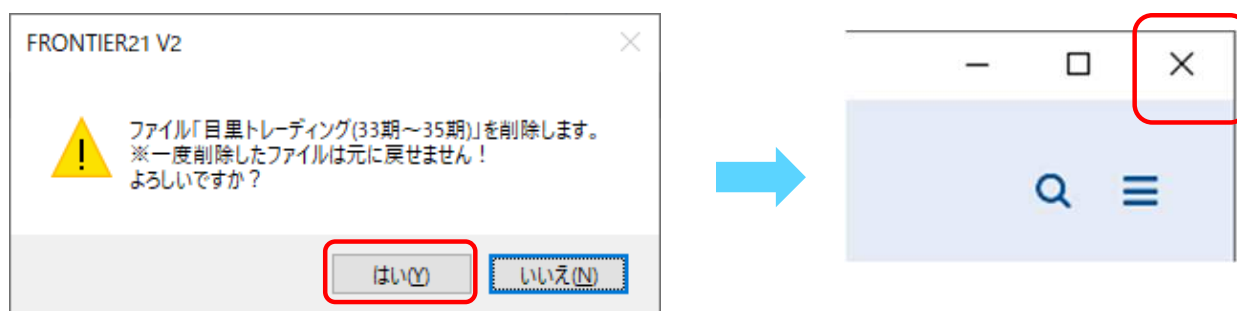
終了する場合は右上の[×]をクリックします。※未送信ファイルは自動送信されます。



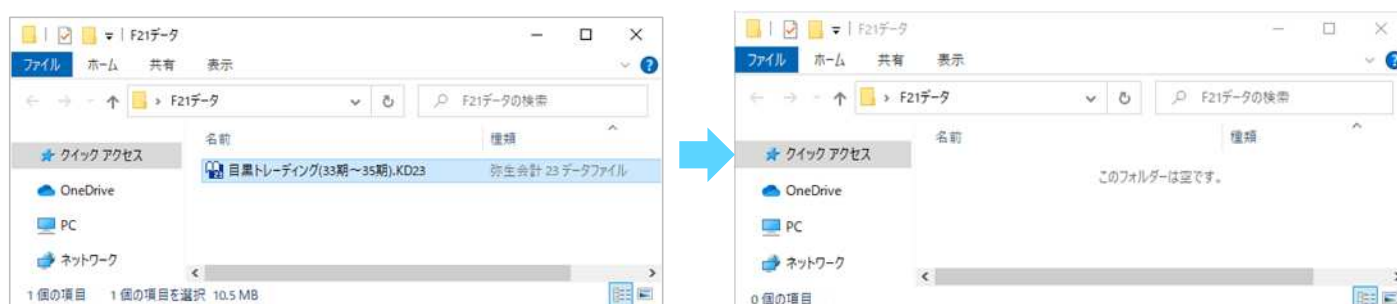
④コンバート前のデータ(弥生会計22データ)を右クリックし、[送信]します。  
ファイル送信後、再度右クリックし[削除]を選択します。



⑤確認画面が表示されますので、[はい]をクリックします。削除が完了したら、右上の[×]をクリックします。



⑥デスクトップに作成した[F21データ]フォルダ内のファイルは、作業終了後に削除してください。



●本マニュアルについて

本マニュアルはFRONTIER21の操作方法を記載しています。  
マニュアル内の操作は、Windows10で行っています。

●商標について

本文中に記載されている会社名、製品名、ソフトウェアなどについては、各社の商標  
または登録商標です。

●著作権について

本マニュアルのすべての内容は、著作権法によって保護されています。  
株式会社オリコンタービルの許可を得ず、転載・複写・複製などはできません。

●免責について

本マニュアルに記載されている内容および仕様、デザインなどは、  
改良のために予告なく変更することがあります。  
あらかじめご了承ください。